

活動分野	森林環境教育		
タイトル	稲毛海浜公園の植物、昆虫、木の実を使った工作		
実施日時	平成28年10月23日(日)10時~12時		
実施場所	千葉市 三陽メディアフラワーミュージアム、稲毛海浜公園		
受講者	親子9組22名	FIC会員他スタッフ	2名

活動の内容：千葉市みどりの協会主催 親子自然観察会

秋も深まり、虫も少なくなった中でしたが、好天に恵まれた一日となりました。3歳から小学生まで幅広い年齢層が対象で、なるべく簡単な写真での紹介と説明を心がけました。

1. フラワーミュージアム内：ジュウガツザクラ（秋に咲く桜もある）、オジギソウ（この秋の遅い季節に残っていたのは奇跡に近い）、ピラカンサの実（鳥が種を運ぶ）を説明。
2. 芝生広場では、アカトンボ、コオロギ、オンブバッタ、ショウリョウバッタを確認。しばしの間、親子で虫取りに夢中になる。
3. 稲毛の砂浜を堤防まで歩いて、途中、貝殻を拾う。残念ながら、夏に確認できたフナムシ、カニは見えず。東京スカイツリー、東京湾アクアライン等、説明。
4. 野外音楽堂脇のアオギリの実を落として、くるくる回る様子を確認する。
5. 御浜緑地事務所手前の通路にスタジイ、マテバシイの実を工作用材料として、拾う。
6. フラワーミュージアムまで戻る途中の水路にメダカの群れ、小さなエビを発見。網ですくって、持ち帰ることに成功し、小さな子供にとって良い経験となる。
7. フラワーミュージアム内のテラスにて、拾ったどんぐり、マツボツクリを使って、持参したネズミ、トトロを手本に、親子夢中になって工作し、予定を30分も超過してしまう。

暖かさで、虫たちも活発に表れてくれ、最後の工作も含め、親も童心に帰って、子供とともに楽しむことができたようです。工作では見本に縛られることなく、子供の想像力には感心させられることが多々ありました。



オジギソウがまだ残っていた



ピラカンサの赤い実



芝生広場での虫取り



稲毛人工海浜を歩く。



アオギリの垂れ下がった実



どんぐり拾い